

福生災害ボランティアチェーンソー隊活動報告 No.81 (2024.05.11)



終了時上流からの様子



終了時下流からの様子



手作業で竹の根切り作業

今回の
作業内容

今回は、前回伐木しておいたニセアカシヤとニワウルシを玉切りにして、堤内地へ持ち出しました。

作業としては、伐木するメンバーと今まで伐木して置いてあった樹木を玉切りにするメンバーとに別れ、作業を進めました。

玉切りにする段階で幹から枝を取り除く作業が、実は大変です。太い枝はチェーンソーで切れるのですが、それより細くなると剪定ばさみやナタを利用しないと切れないのです。しかし、この作業を怠ると、枝が嵩張ってしまい処理が大変になってしまいます。この作業が案外時間がかかっています。

また、集積した枝の処分方法に苦慮しています。幹は薪配布という方法で再利用できますが、枝の部分は今のところ目処がたっていません。

FDCAT
福生災害ボランティアチェーンソー隊



休憩中



棒投げ遊び



大径木伐採の準備の様子



玉切りと持ち出しの様子

福生災害ボランティアチェーンソー隊活動報告 No.82 (2024.5.26)



玉切りの様子



玉切りを集積中



玉切りを集積中

**今回の
作業内容**

今回は、前回同様に伐木の続きとなります。
6月9日（日）にあきる野市内での薪配布が予定されていることから、伐木して玉切り作業を中心に作業しました。
チェーンソーで伐木し、枝を落としてから玉切りという作業となりますが、メンバー各自は判断して、作業分担をしています。
その理由は、チェーンソーを作動している時には、できるだけお互いが離れて作業した方が安全だからです。また、本人の体調などにより、作業の軽重を判断して担当を選ぶようにしている時もあります。
毎回、安全を最優先で作業を進めています。

FDCAAT

福生災害ボランティアチェーンソー隊



新たな旗ができました



枝を集積中



終了時：下流側から



終了時：上流側から

福生災害ボランティアチェーンソー隊活動報告

No. 83
(2024.06.02)



今回の 作業内容

今回は、第22回福生環境フェスティバルでの取り組みを紹介します。

私たちは、日常的にはチェーンソーで河川敷内の傾倒木を伐木し、堤内地へ持ち出す活動をしているのですが、年間を通して薪無償配布、福生市観光案内所くるみるふっさとの協働の取り組みで、「木育体験」を実施しています。

そのため、多摩川河川敷内の草地化や伐木樹を資源の再利用という視点から、さまざまな取り組みをしています。今回の棒投げ遊びもその一環として実施しています。

FDCA

福生災害ボランティアチェーンソー隊



手作りの棒投げ遊び



想定以上に盛り上がりました



手作り作品の販売👉活動費用の捻出



竹トンボの飛ばし方指導

福生災害ボランティアチェーンソー隊活動報告

No. 84
(2024.06.08)



親子で参加

今回の 作業内容

今回は、あきる野市平沢下川原公園での薪配布（6月9日）の準備作業です。

河川敷内の傾倒木を伐木し、玉切りにして無償薪配布という形で、河川敷内の危険樹木を「資源」の再利用とする、新たな視点と枠組みづくりの一環です。

伐木し枝を落として幹の部分の玉切り作業するのですが、雨季が近づきましたので、河川敷内に玉切りも含めて残して置かないよう、翌日の配布量を勘案して処理しました。翌日の配布のために、軽トラ5台分を用意しました。

FDCAAT

福生災害ボランティアチェーンソー隊



草刈り作業の様子



玉切り作業の様子



作業終了時の様子



玉切り作業の様子



玉切り運搬中



玉切り作業の様子



玉切り作業の様子

福生災害ボランティアチェーンソー隊活動報告 No. 85

(2024.06.09)



今回の 作業内容

今回は、あきる野市平沢下川原公園での薪配布（6月9日）の取り組みを紹介します。

日常的にチェーンソーで河川敷内の傾倒木を伐木し、堤内地へ持ち出す活動をしているのですが、課題としては伐木樹の処分です。

幹の部分は薪無償配布という方法で、河川敷内での危険な樹木を「資源としての再利用」が可能となります。

今回は初めてあきる野市の広報に掲載していただき、およそ50人ほどの方が来場いただき、軽トラ5台分の用意した玉切りは、わずか30分ほどで配布終了しました。

次はいつ？という期待されている声が非常に多く、要求が多いことを実感しました。なお、親子で、薪割り体験や竹トンボなどで、楽しい時間も過ごしました。

FDCAAT

福生災害ボランティアチェーンソー隊



福生災害ボランティアチェーンソー隊活動報告 No. 86

(2024.06.23)



今回の 作業内容

今回は雨天のため、川の志民館を利用して、チェーンソーに関する学習を行いました。

まず、今年2月にあったチェーンソー事故の詳細を資料で学び、私たちの現場でも注意することを確認しました。

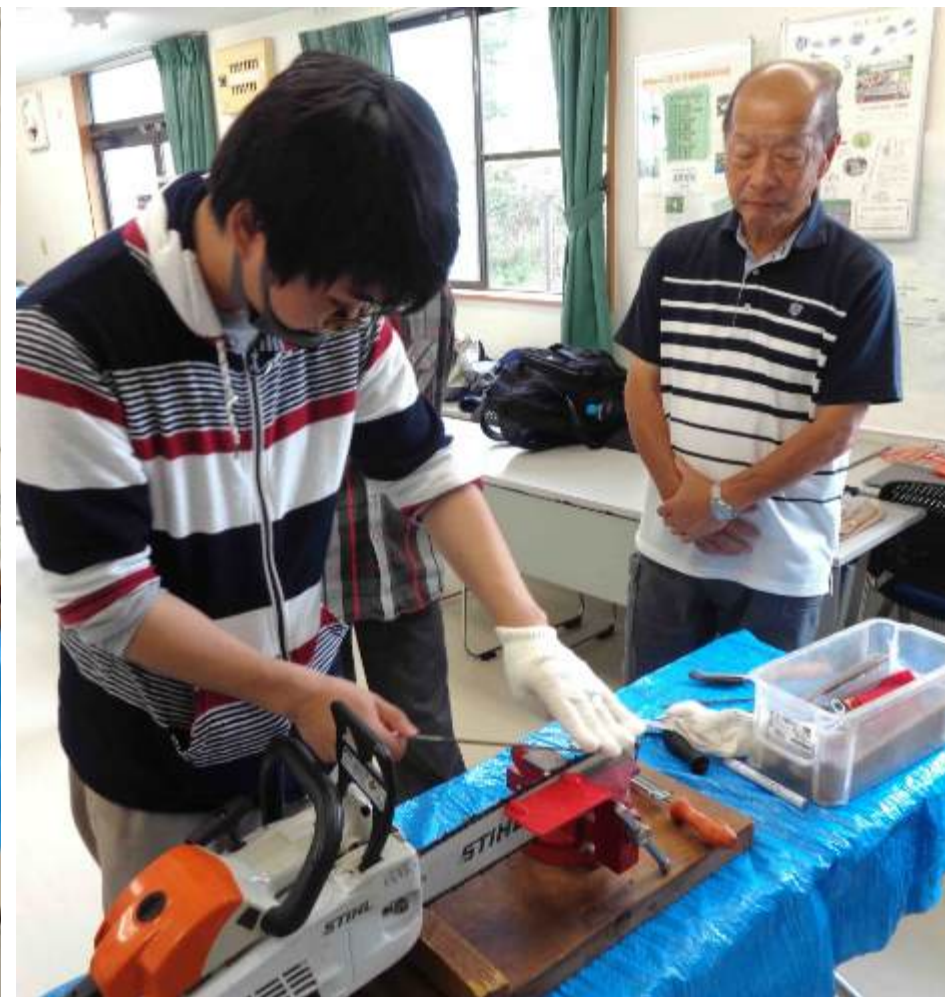
次に、今年7月19～21日開催予定の七夕の取り組みについて、準備などを確認しました。

さらに7月28日（日）にはくるみるふっさの木育体験を手伝うことになっていますので、そこでは竹の水鉄砲を作成することになっています。今後、様々な準備を進めることにします。

その後、チェーンソーの刃の研ぎ方を実演しながら、特に若い2人が実際にやってみました。

FDCA

福生災害ボランティアチェーンソー隊



福生災害ボランティアチェーンソー隊活動報告

No. 87
(2024.07.13)



終了時の様子



FDCAAT
福生災害ボランティアチェーンソー隊



今回は、JR五日市線多摩川陸橋上流側の草刈りと、以前伐木し持ち出しできず敷地内に残っていた伐木樹を玉切りにして持ち出すという作業です。

京浜河川事務所多摩川上流出張所から、伐木し残っていた枝葉を持ち出したので、残っている伐木樹を処理して欲しいとの連絡を受けました。定例の作業日以外にも数人で片付け作業を行い、ほぼすべての伐木樹を持ち出しました。休憩時には、メンバーの古屋さんが用意していただいた桃を、みんなで美味しくいただきました。



玉切り作業と持ち出し準備



軽トラ2台分を持ち出し



通路脇も草刈り作業



成長の早い草との戦い



福生災害ボランティアチェーンソー隊活動報告

No.88

(2024.07.19-21)



ウグイス笛の吹き方伝授

FDCAT

福生災害ボランティアチェーンソー隊

今回の 作業内容



今回は、第74回福生市七夕まつりに参加しましたので、その報告です。福生災害ボランティアチェーンソー隊がなぜ七夕まつりに参加するのか？ですが、私たちの活動をより多くの方に知っていただき、活動の意義を理解し活動する団体として認知していただける絶好のチャンスと考えているからです。

それとともに、伐木し廃棄される樹木や竹を再利用し、身近な生活の中で利用できるものに再利用するという、SDGsの意義にも通じるものを提案し、活動に理解して協力いただける機会と考えています。

ウグイス笛や竹トンボ作りのワークショップを開催し、子どもや外国人の方に楽しんでもいただきました。

3日間は大変暑い最中での取り組みでしたが、参加したメンバーも含め、無事に楽しむことができました。



会場：くるみるふっさ



竹作品の販売



竹作品の販売



竹作品の販売



ウグイス笛ワークショップ



竹とんぼの飛行機販売

福生災害ボランティアチェーンソー隊活動報告

No.89

(2024.07.28)



作った水鉄砲で遊ぶ



FDCAAT

福生災害ボランティアチェーンソー隊



今回は、福生市観光案内所「くるみるふっさ」の木育体験の依頼に応え、ノコギリ体験・薪割り体験などを通して、身近な河川の環境を考えるきっかけとなるように考え、多くのメンバーで対応しました。しかし、水辺の楽校通路付近は歩くことも大変なくらいの草丈でしたので、一部のメンバーで草刈りも並行して行いました。

木育体験では、初めてノコギリを使ったり薪割りを体験し、私たちが日常的に伐採しているアズマネザサを利用したウグイス笛を作り、竹の水鉄砲も作りました。休憩時には、メンバーの古屋さんから提供していただいた桃をいただきました。楽しさを体験することで、新たな知識を得るきっかけになってもらえるといいですね。



水辺の楽校通路 草との戦い



公園通路境での草との戦い



親子で楽しむ水鉄砲作り



薪割りにチャレンジ



薪割りにチャレンジ



竹馬にチャレンジ

福生災害ボランティアチェーンソー隊活動報告

No.90

(2024.08.10)



通路の草刈り



今回は、暑い中でJR五日市線多摩川橋梁上流の右岸部分の草刈りを行いました。まず、歩行者にとって通路両側の草はやっかいなものとなっていますので、通路を中心に草刈りを行いました。休憩後は、秋以降にニセアカシヤなどを伐木するために、アズマネザサなどを中心に伐採しました。

今回の作業は、秋冬の伐採のための準備作業ですが、草の勢いとの闘いがつづきます。



通路の確保



通路の草刈り



アズマネザサの伐採



伐採後の様子